

事業概要

幹線(航空)と域内輸送(新幹線)のモーダルシフト

協議会構成員

鹿児島県、北九州市、広島県、九州旅客鉄道株式会社、ヤマト運輸株式会社

協議会名:効率的な航空輸送の構築と推進協議会

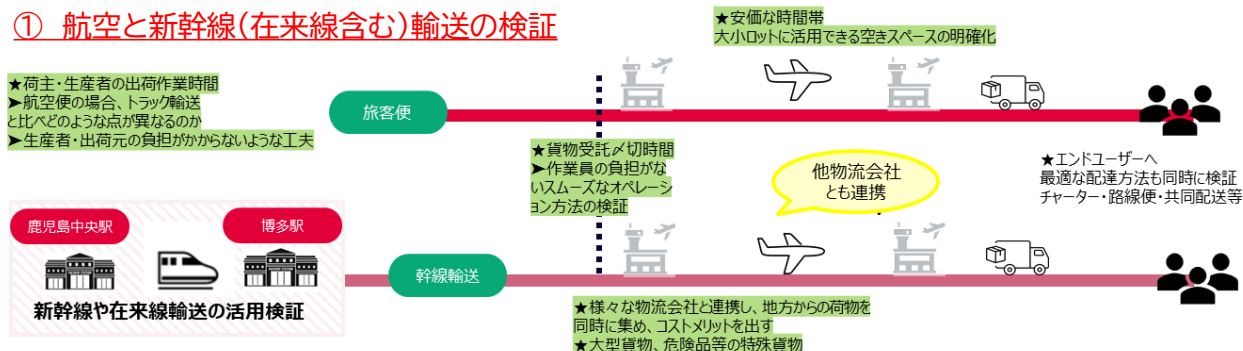
【事業実施背景】

トラックドライバーの労働力が2027年には需要分の25%が不足、2030年には物流需要の約36%が供給できないという試算が出されており、地方からの幹線輸送という点では、トラックのオペレーション体制、産地からの輸送が厳しい状況になると予想されており、産地～集約拠点への輸送、産地域内の集約すら厳しくなることを想定し、「輸送力を確保すること」「輸送の多様化」が必要であると考え、本事業の参画に至った。

事業内容

Point 航空輸送(旅客・貨物機)を活用した幹線輸送と域内輸送(例:鹿児島～福岡)のモーダルシフトの実現を目指し、リードタイムとコスト検証を行う。また航空や新幹線利用へのモーダルシフトを促進するためにも輸送に関わるオペレーションの効率化も同時に検証していく。(クール貨物対応も含めて)

① 航空と新幹線(在来線含む)輸送の検証



② 新たな新規路線に向けた貨物機チャーター実証

③ 航空保安遵守・X線に関わる設備構築(クール対応)

想定事業実施効果

航空貨物に対する規制に効率良く対応するべく、商材や荷姿に合わせたオペレーション構築の実現することにより荷主に対して航空利用の促進を図る

航空輸送、新幹線輸送を利用することにより品質向上、幹線におけるリードタイムの短縮(1日以上)と輸送コスト5%以上の削減を目指す。航空輸送の利用促進をすることで、安定的な輸送の確保と自治体や他物流会社と協業し、官民一体となって日本国の物流構築・維持へ貢献できる

スピード輸送による保冷輸送の構築ができることにより新たな販路拡大へ繋げることができるのではないかな。